

2026年度 冬期ワークショップコース一覧①

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
1	契約審査、法律相談業務の実務体験	法務部では、二コが扱うすべてのビジネスに関する契約審査、法律相談対応を主にしています。契約審査、法律相談対応において、法務部員が何を考え、どのように働いているかを、ケーススタディを通して体験できるプログラムとなっています。ビジネスに必要な不可欠な契約書とはどのようなものか、何が重要なポイントかを理解し、契約を通じてビジネスの課題を解決するためのスキルを学んでいただけます。また若手社員との座談会の機会も設けていますので、法務の仕事についてより具体的にイメージをつかみ、不安や疑問を解消する場としていただければと思います。法学部出身者に限らず、法務の仕事に興味がある方のご参加をお待ちしています。	1日目：法務部の説明、ガイダンス、法律相談ケーススタディ 2日目：契約書の読み方、契約審査ケーススタディ、法務部員との座談会 3日目：契約審査ケーススタディ、契約審査内容についての報告会	本社（インバersionセンター）	経営管理本部/法務部		特になし	特になし
2	特許実務ワークショップ	このワークショップは、特許の仕事に興味を持っている学生のみなさんに、企業における基本的な特許実務実際に体験しながら学んでいただけるカリキュラムになっています。 「企業にとって特許がなぜ重要なのか」、「企業の知的財産部はどのような役割を担っているのか」といったポイントを丁寧にご説明します。 実際に二コで特許出願した事例を用いて、開発から発明を収権し、特許出願するまでの検討の流れや、出願後の特許庁による審査への対応の仕方（特許出願に対して特許庁から発行される拒絶理由通知への応答の仕方など）を体験していただくことができます。 ぜひ、二コ知財財産部の一員になった気持ちで、特許の仕事にトライしてください。	1．企業における特許の価値や知的財産部の役割・仕事を学ぶ【講義】 2．特許明細書を読み解く【実習】 ～実際の明細書を読んで発明のポイントを考える～ 3．特許請求の範囲（請求項）を作成する【実習】 ～抽出した発明のポイントをどのように請求項として記述できるか考える～ 4．拒絶理由通知に対する意見書を作成する【実習】 ～拒絶理由を解消して特許庁に特許を認めてもらうための応答方針（反論）を考える～	本社（インバersionセンター）	経営管理本部/知的財産部	知的財産系、機械系、電気・電子系、情報系、物理系、化学系、バイオ系、数学系、経営工学系	・特許実務に興味をもってワークショップに積極的に取り組める ・グループワークやディスカッションで気後れることなく協調性をもってコミュニケーションできる ・パソコンの基本スキル（Word及びPower Pointの操作スキル）をもっている	・大学の講義や自己学習などで特許について学んだことがある／基礎知識をもっている ・就職後に知的財産部門への配属を希望している（特許に関する仕事をしたいと思っている）
3	生成AIによる業務支援エージェント開発体験	ビジネスIT推進課は、社内における生成AIの活用推進を担う部署です。本ワークショップでは、コミュニケーション活性化やバックオフィス業務の効率化をテーマに、生成AIの活用方法を学びながら業務支援エージェントの企画・開発を体験します。CopilotやCopilot Studioを活用したエージェント構築を通じて、生成AI標準ツールの展開・活用推進業務への理解を深めるとともに、業務課題への適用や社内展開の実務を体験していただきます。	①生成AI（Microsoft Copilot等）の基本的な使い方を学ぶ。 ②Copilot Studioを活用したエージェント開発の基礎を学ぶ。 ③コミュニケーション活性化やバックオフィス業務効率化などのテーマを設定する。 ④テーマに沿った業務支援エージェントの設計・構築・評価を行う。 ⑤成果をまとめ報告会を実施する。	本社（インバersionセンター）	ITソリューション本部/IT戦略企画部/ビジネスIT推進課		特になし	・日常的に生成AIを活用している方 ・Copilot等の生成AIツールに興味がある方 ・ソフトウェア開発経験がある方
4	PowerBIを活用したデータ分析	販売サービスシステム課は、二コグループの販売・サービス業務を支えるシステムの運用を担い、国内外の事業部や販社と連携しながら、業務の効率化やデータ活用の推進に取り組んでいる部署です。販売やサービスに関わるさまざまな情報をシステムにつなぎ、事業活動を支える基盤づくりを行っています。 今回のワークショップでは、ITソリューション本部ならではの視点を活かし、PowerBIを活用したデータ分析に取り組んでいただきます。 製品の売上情報や保守問合せ情報などを活用し、データから現在のシステム課題や売上傾向を読み解くことを予定しています。分析テーマの設定からデータの整理・可視化・考察までを体験することで、実践的なデータ分析スキルと、ビジネスを支えるIT部門の業務を学ぶことができます。	①PowerBIの使い方を学ぶ。 ②製品売上情報をもとに、課題解決検討のデータ分析や表作成を行う。(Copilotも活用) ③保守問い合わせ情報をもとに、問い合わせ件数や工数を用いてデータ分析を行う。(Copilotも活用) ④二コについて座談会や社内ツアーを通して学ぶ。 ⑤成果をプレゼン資料にまとめ報告会を実施する。	本社（インバersionセンター）	ITソリューション本部/エンタープライズシステム部/販売・サービスシステム課		特になし	特になし
5	二コのIT現場に潜入！企業ネットワークの要件定義から運用までを体験	二コのITインフラ（ネットワーク）に関する企画・設計・構築・運用・サポートまで、実際の業務の流れを体験できる実践型ワークショップです。企業のITインフラとは何か？ITを活用して事業にどう貢献できるのか？本コースでは、ITシステム部門の役割ややりがい、リアルな業務を通じて深く理解することができます。「デジタルの力で会社を支える」仕事の面白さを、ぜひ体感してください。	実際の業務プロセスに沿って、ネットワークの要件定義、設計、構築、運用を体験いただきます。 また、実機を用いたネットワーク構築演習を通じて、ITインフラエンジニアの仕事を実践的に学ぶことができます。	本社（インバersionセンター）	ITソリューション本部/デジタル技術部		特になし	企業のITインフラに興味がある TCP/IPのネットワーク基本知識
6	光学機器設計・製造・評価体験	当課では、半導体製造に欠かせない半導体露光装置の機械設計を担当しています。 露光装置には高精度なレンズやミラーなどの光学部品が数多く使用されており、私たちはそれらを支える機構やユニットの設計を行っています。 設計業務では、3D-CADを用いた機械設計に加え、強度・振動・熱変形などの各種シミュレーション解析を実施します。また、解析結果と実機評価結果を比較しながら設計を改善することで、要求性能を満たす製品を実現しています。 さらに、製品企画や顧客要求を理解し、それらを具体的な形に落とし込んでいくことも重要な役割です。最先端の半導体製造を支える装置の開発を通じて、機械設計、解析、評価といった幅広い技術を学ぶことができます。	3D-CADを活用した設計体験 CAE解析の体験 評価結果と解析結果の比較・検証体験 顧客要求や製品企画を具体的な設計へ落とし込むプロセスの体験 3Dプリンタでのモデル体験	熊谷製作所	光学本部/第一開発部/第五設計課	機械系、物理系	材料力学や機械力学など、機械工学の基礎知識を学んでいる方	機械力学、材料力学、解析力学などの基礎知識 3D-CADやCAE解析の利用経験（授業・研究を含む）
7	ミラーレスカメラ用交換レンズのメカ・駆動開発体験	交換レンズの高い性能は、高度な機械設計とモータによる駆動技術によって実現され、美しい写真や映像を生み出しています。本コースでは、交換レンズを題材に、メカ構造やレンズを動かす仕組みへの理解を深めながら、撮影や測定、結果の分析などを通じて、開発エンジニアの仕事を経験していただきます。また、社員との交流やフィードバックを通じて、ものづくりの面白さとエンジニアの役割を学ぶことができます。	・交換レンズの役割と構造を知り、レンズを動かす機構やモーターなどの要素技術を学びます。 ・カメラと交換レンズを使用して、実際に撮影や測定を体験します。 ・撮影写真や測定結果をもとに、各要素技術が性能や画質にどう影響するのかを学びます。 ・性能を高めるためのアイデアを自由な発想で考えます。	本社（インバersionセンター）	光学本部/第二開発部/第三設計課	機械系	特になし	機械や製品の仕組みに興味があり、新しいアイデアを考えることが好きな方
8	交換レンズ、光学モジュールの電気・制御設計体験	光学本部は二コの光学技術を担当する部署で、映像事業部を含む複数の事業部と連携してBtoB、BtoC向け製品開発を行っています。本コースでは、カメラ用交換レンズや光学モジュールにおける電気・制御設計やモータ設計とはどのような仕事かを、実習を通して学びます。 参加者は製品設計の現場で求められる技術や考え方を実際に近い形で体験できます。	①交換レンズの分解・部品観察（ハズオン）：レンズに含まれる電気部品やモータの構造・役割を学びます ②実習を通じて交換レンズのフォーカスモジュールを動かすためのモータ設計や制御設計業務を学びます ③環境試験・電気評価の紹介（見学・デモ）：EMC評価設備の見学や評価例を説明します ④回路設計CADを使った設計体験（ハズオン）：簡単な回路図作成やPCB設計の流れに触れ、設計が品質にどう影響するかを理解します ⑤産業機器向けモジュールビジネス（BtoB）開発業務紹介（座学・デモ）：どのように制御系の開発、評価を行っているかを体験できます	本社（インバersionセンター）	光学本部/第二開発部/第四設計課	電気・電子系、物理系	特になし	電気回路、制御、モータに関して興味がある方

2026年度 冬期ワークショップコース一覧②

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
9	機能性薄膜の作製・評価による研究開発体験	機能性薄膜に関する実験・分析を通じて、新たな材料や成膜技術の可能性を探る研究開発業務を体験します。 得られた結果を考察し、研究開発の進め方への理解を深めます。	・機能性薄膜と関連技術の紹介 ・実験室の見学 ・座談会 ・機能性薄膜の作製・評価実習 ・実験結果の考察と報告会	相模原製作所	先進技術開発本部/材料・要素技術研究所/第一研究課	物理系、化学系	化学、物理実験の基礎を習得している方	研究開発に興味がある方
10	レンズ研磨と計測で学ぶニコンのもののづくり	カメラの交換レンズや半導体露光装置、人工衛星など、ニコンの多様な製品や先端技術を支えるレンズ加工技術。 わずかな精度の違いが製品の性能を左右する、ニコンの高精度なもののづくりの根幹技術です。 本プログラムでは、研磨や干渉計による計測を実際に体験し、加工・評価の考え方や品質とコストを両立する工夫を学びます。 さらに、新技術や最新トレンドにも触れながら、社会を支える技術者の役割や、ものづくりに込める想いを肌で感じてみませんか？	①加工装置紹介 ②レンズの研磨体験 ③干渉計等の装置を用いた計測実習 ④資料作成・報告会	相模原製作所	生産本部/技術統括部/第一技術開発部/第一開発課	機械系、物理系、化学系、電気・電子系	特になし	実験好きな方、レンズの加工・計測技術に興味のある方
11	光学薄膜の設計及び成膜実習	光学薄膜の設計と成膜実験、特性評価を通して光学薄膜開発業務の流れを経験できます。 光学薄膜設計の基礎、蒸着法又はスパッタ法による成膜装置の原理・操作方法・準備手順を学び、実際に成膜した光学薄膜の計測評価を行います。 その計測結果を解析し、要求される特性を満たすように成膜条件を調整するといった実際の開発業務に沿った内容です。	①光学薄膜の設計②成膜実習③成膜した光学薄膜の計測評価④データ解析と成膜条件の調整⑤レポート作成と報告会実施	相模原製作所	生産本部/技術統括部/第一技術開発部/第二開発課	機械系、物理系、化学系、数学系	PowerPointでの資料作成及び報告、Excelでの基本的な計算	光学薄膜に興味がある方、成膜実習を体験したい方
12	ロボットシミュレーションで挑む 生産システム開発	当課では、ロボットや各種設備を活用しながら、製品を効率よく高品質に生産するための生産システムの開発に取り組んでいます。 本コースでは、生産技術エンジニアが実際に行っている生産システム開発のプロセスを経験していただきます。 ロボットシミュレーション上の生産工程モデルを分析し、目標とする生産システムの実現に向けた課題抽出、解決策の立案、シミュレーションを用いた検証を行い、より良い生産システムを作り上げます。 ロボットシミュレーションを活用した開発業務を通して、生産システム開発の進め方や考え方を実践的に経験していただけるコースです。	・交換レンズ製造工程紹介 ・ロボットシミュレーション説明 ・ロボットシミュレーションモデル分析、課題抽出 ・生産システムの開発案検討 ・シミュレーションによる効果検証 ・開発結果のまとめ、報告	本社（イノベーションセンター）	生産本部/技術統括部/第二技術開発部/第二開発課	機械系、電気・電子系、情報系、物理系、経営工学系	簡単な計算や実験データまとめを行うExcel、レポートや報告会資料のためのPowerPointを扱えるスキル	・生産技術や自動化技術に興味がある方 ・新しいアイデアを考えるのが好きな方
13	レンズ形状計測機の誤差要因検討と調査	ニコンの精密技術を支えている計測機の開発における誤差要因調査業務を体験する。部署の紹介と計測技術の開発を体験してもらいながら自分の手で計測機の誤差要因を明らかにしていく。	①1軸精密位置決めステージの組立調整を行い構成要素を理解する ②このステージを用いてレンズ断面計測データを収集する ③誤差についての基礎的な講義を受講いただき、誤差について学ぶ ④収集したデータ、及びステージ構成から、誤差要因について議論を行う ⑤議論、学習結果を基にレンズ断面計測における誤差を見直し、その結果や改善のためのアイデアなどを報告会で共有する	水戸製作所	生産本部/技術統括部/第一設備開発部/システム開発課	機械系、物理系、電気・電子系、数学系	特になし	標準偏差、分散等の基礎的統計知識がある方 PowerPointやExcel操作の経験がある方
14	精密機器に用いられる機械要素の設計	当課は、ニコングループ全体を対象とした生産設備の機械設計および要素技術開発を担当する部署です。 本ワークショップでは、生産設備の開発を題材に、仕様検討から設計、組立・調整、評価まで、機械設計業務の一連の流れを体験していただきます。 また、若手社員との交流を通じて、実際の職場の雰囲気を感じていただけます。	・小型ステージを題材に、仕様検討から評価までの一連の機械設計業務を体験していただきます。 ①要求仕様の整理および設備仕様の検討 ②3D-CADによるモデル作成体験と部品図面の公差検討 ③組立・調整方法の検討、小型ステージの分解・組立体験および評価 ・若手社員との交流や職場見学を通じて、実際の職場の雰囲気を感じていただきます。 ①若手社員との座談会 ②開発した生産設備の事例紹介 ③職場見学	水戸製作所	生産本部/技術統括部/第一設備開発部/第一開発課/第一開発係	機械系	機械設計やものづくりに興味のある方	特になし
15	デジタルカメラのソフトウェアテスト	デジタルカメラのファームウェアテストをテスト要求分析、テスト設計、テスト実施を通して、生成AIを活用しながら体験いただきます。	デジタルカメラのファームウェアの ・テスト要求分析 ・テスト設計 ・テスト実施（実機を用いたテスト） の工程で生成AIを活用し、開発中のファームウェアを用いることで実際に不具合検出も体験していただきます。	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/ソフトウェア開発部/ソフトウェア品質管理課	電気・電子系、情報系	・カメラに興味がある方 ・ソフトウェアテストに興味がある方	・ソフトウェアテストまたはソフトウェア開発の知識、経験がある方 ・生成AIを使用した経験がある方

2026年度 冬期ワークショップコース一覧③

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
16	デジタルカメラのファームウェア開発	実際のデジタルカメラの被写体追尾制御、撮影処理に関するファームウェア開発を体験していただくことで、組み込み機器に使用されるリアルタイムOS の理解や、組み込みソフトウェアの重要性等について学んでいただきます。	・ファームウェア開発プロセスの学習 ・カメラの被写体追尾制御、撮影処理の基本技術の学習 ・被写体追尾制御の設計（シークンス図の作成）、実装（ソースコードの作成）、試験（試験仕様書作成、実写）	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/ソフトウェア開発部/第一開発課	情報系	C言語で簡単なプログラミングができること	カメラへの興味があること
17	ミラーレスカメラにおける、画像再生機能のファームウェア開発を体験	ソフトウェア開発部 第二開発課では、二コンのミラーレスカメラの撮影、画像処理に関するファームウェアの機能実現を担当しています。ファームウェア開発では、要求分析/設計/実装/試験 といくつもの工程を経て、その後の評価工程を担当する部署へファームウェアを提供します。 本コースでは、画像再生担当の社員と一緒にファームウェア開発の一端を経験いただき、二コンにおけるファームウェア開発の流れを知っていただくコースとなります。また、参加された方からのご質問、ご提案も歓迎いたします。	1）ファームウェア開発の工程を理解いただく 2）画像再生機能の開発の一部を担当社員と一緒に実施する 3）体験された工程での結果報告、振り返りを実施する	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/ソフトウェア開発部/第二開発課	情報系	特になし	特になし
18	デジタルカメラの製品仕様検討及び、ファームウェア要件定義	・カメラ開発における使いやすい、新たな製品仕様の検討 ・カメラファームウェアに対する要件定義 50年以上続く二コンのカメラ開発において、社内唯一のカメラ製品仕様策定部署でどのようなことを考える必要があるのかを学べます。	二コンデジタルカメラの概要を学ぶ。 カメラに新たに投入したい機能や、改善したい機能を考える。 新機能や改善機能の製品仕様を検討し、要件定義を行い仕様書を作成する。	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/ソフトウェア開発部/第五開発課		カメラへの興味があること パソコンやエクセルの操作ができること	静止画、動画撮影への興味 組み込みソフトウェア開発業務への興味
19	カメラ画像処理 最新機能の評価	カメラには、ノイズ低減処理、美肌処理、フリッカー低減など様々な画像処理機能が搭載されています。本コースでは画像処理の最新機能をピックアップし、画質評価を行っていただきます。 社員と一緒に定量・定性的な観点を学びながら、評価を進めていただきます。	1) カメラ画像処理機能の紹介と評価機能のピックアップ 2) 当課課員と共同で撮影および画質評価実習 3) 評価結果のまとめと発表	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/第一開発部/第三開発課	機械系、電気・電子系、情報系、化学系、物理系、バイオ系、数学系、経営工学系、知的財産系	特になし	カメラに興味があること
20	カメラ向け深層学習による推論の実習	深層学習でカメラ向け画像処理の課題に取り組みます。 (実習を通して、企業における開発の流れを体験いただく)	・深層学習モデル開発に関する理解 ・深層学習ネットワークモデルの評価 ・当課課員との交流 ・課題に関する報告書作成と発表	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/第二開発部/第一開発課	情報系、物理系、数学系	・基本的な画像処理の理解をお持ちの方 ・Python, PyTorchの経験をお持ちの方	・機械学習、深層学習分野の経験をお持ちの方 ・その他プログラミングの経験をお持ちの方(C++, C#, Java, JavaScript などなんでも)
21	実写撮影で学ぶカメラ開発評価体験	当課では、ミラーレスカメラのAF性能、画質、操作性、動画性能などを、実際の撮影環境で検証・評価し、製品開発へフィードバックする業務を担当しています。当社機だけでなく他社機との比較も行いながら、カメラの総合的な性能を多角的に評価しています。 今回のワークショップでは、当社および他社のミラーレスカメラや超望遠レンズなどのプロ向け機材を使用し、スポーツや人物などの被写体を実際に撮影しながらカメラの性能評価を体験していただきます。撮影後は結果を整理し、レビューやフィードバックの発表も行い、カメラ開発における評価業務の流れを体験していただきます。	①カメラ開発における評価業務の役割や、実機評価の基本的な流れについて説明 ②撮影テストの進め方、評価観点、データ整理やレポート作成のポイントについて説明 ③実際にカメラとレンズを用いた撮影テストとデータ評価の体験 ④評価結果の整理、報告レポート作成、報告会での発表	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/第二開発部/第三開発課		・レンズ交換式カメラなどのカメラを使用した写真または動画撮影の経験があり、撮影から編集まで行ったことがある方 ・基本的なカメラ設定（AF、露出、ホワイトバランス、カスタムボタン設定など）を調整した撮影経験がある方	・超望遠レンズを用いてスポーツや動物の撮影経験のある方 ・設定変更や撮影条件の違いによる画質やAF性能の差を観察・言語化できる方 ・海外ユーザーを想定した英語での基本的なコミュニケーションができる方
22	画像処理を用いたカメラのオート機能改善の実習	画像処理を用いて、写真の明るさや色味の自動調整機能に関する課題解決を体験していただけます。	・カメラ機能に関する理解 ・画像処理に関する実習 ・当課課員との交流会 ・課題に関する報告書作成と発表	本社（イノベーションセンター）	映像事業本部/映像事業部/開発統括部/第二開発部/第五開発課	情報系	基本的な画像処理の知識をお持ちの方 Python, OpenCVの基本的な知識がある方	その他プログラミングの経験をお持ちの方 (C++, C#, Java , JavaScript などなんでも)
23	精機事業：BtoBメーカーの経営視点を学ぶビジネスモデル企画	ビジネスモデル作成を通じ二コン精機事業の理解を深めてもらいます。精機事業のビジネスを題材に、「どのような価値をお客様に届けるか」を考えながら、事業全体のビジネスモデルを設計していただきます。さらに、収益計画の立案にも挑戦していただきます。	・二コン精機事業についてのオリエンテーション ・ビジネスモデル作成：下記立案を通じて事業の理解を深めていただきます - 商品企画 - 販売戦略 - アフターサービスビジネス - ビジネス収益計画 ・社員との座談会 ・ビジネスモデルの発表/Feedback	本社（イノベーションセンター）	精機事業本部/事業企画部/業務課		特になし	二コンの精機事業ビジネスに興味のある方

2026年度 冬期ワークショップコース一覧④

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
24	半導体露光装置商談体験コース	史上最も精密な機械と称される「半導体露光装置」の営業体験。 半導体露光装置は半導体製造工程において中核的かつ最も高額な装置の一つであり、一台あたりの商談スケールが非常に大きく、その営業活動において強いやりがいを感じられることが魅力の一つ。 商談開始から装置引き渡しまで年単位にもなるケースもある中で、お客様とのプロジェクトにおいて、営業としてどのような役割をもって活動していくか、ケーススタディを通じて体験いただきます。	半導体露光装置の説明、営業基礎ワーク、半導体露光装置の営業業務体験、営業や他部署社員との座談会、ココン内他事業との交流。	本社（イノベーションセンター）	精機事業本部/ビジネス推進統括部/第三営業部		半導体業界・営業に興味のある方	コミュニケーション力があり、明るく前向きな方
25	FPD装置における熱設計体験	当課は、FPD装置の計測関連ユニットのメカ設計・開発を担当する部署です。 FPD装置内にはセンサーやモーター等の様々な熱源があり、サブミクロン単位の計測精度を達成するために精密な熱設計が必要です。 本コースでは、簡易的な伝熱評価装置を用いた実験とシミュレーションを通して、FPD装置の熱設計を体験していただきます。	①FPD装置紹介・見学 ②伝熱評価装置を模したシミュレーション（MATLAB、Excel等） ③伝熱評価装置を用いた実験 ※②、③ともに熱・機械的特性の異なる部品を選定して、実際に熱設計を体験していただきます。 ④成果発表資料作成、報告	本社（イノベーションセンター）	精機事業本部/FPD装置事業部/第一開発部/第二開発課	機械系	特になし	機械の熱設計（伝熱・放熱）に興味がある方
26	FPD露光装置における振動抑制技術の開発体験	TMD(チューンドマスダンパ)の開発体験を通して振動に関する一連のアプローチを学ぶことができます。FPD露光装置の機械設計/開発を体験することで、ニコンの雰囲気を知ることができます。	TMD(チューンドマスダンパ)設計/CAE解析/MATLABシミュレーション/振動実験	本社（イノベーションセンター）	精機事業本部/FPD装置事業部/第一開発部/第四開発課	機械系	4力字(機力/材力/熱力/流力)の基本的な知識	特になし
27	世界最先端FPD露光装置を支える 生産計画・調達体験	FPD装置事業部は、テレビ、パソコン、スマートフォンなどに使用される液晶ディスプレイやOLEDの製造に欠かせない露光装置の開発・製造・販売を行っています。 本コースでは、実際の露光装置の見学に加え、お客様の要求に応えるための生産計画立案や、必要な部材を適切なタイミングで手配する調達業務を体験していただきます。 モノづくりの現場では、営業・生産・調達・設計など多くの部門が連携しながら一台の装置を完成させています。本ワークショップを通じて、世界最先端のFPD露光装置を支える「生産計画」と「調達」の仕事の面白さや重要性を実感していただけます	① クリーンルームで稼働するFPD露光装置を間近で見学し、製造現場を体感する ② お客様の要求や納期条件を踏まえた生産計画立案を体験する ③ 部材調達や発注業務の課題に取り組み、調達戦略を検討する ④ 若手社員との座談会を通して、仕事のやりがいやキャリアについて理解を深める ⑤ 本社や関連部門との連携を学び、モノづくりを支える仕組みを理解する ⑥ 検討結果をまとめて発表し、社員からフィードバックを受ける	横須賀製作所	精機事業本部/FPD装置事業部/製造部/生産企画課・調達課		特になし ※専門知識は問いません。生産管理、調達、サプライチェーン、モノづくりに興味のある方であれば歓迎します。	・新しいことにも前向きに挑戦できる方 ・粘り強く考え、最適な解決策を導き出そうとする方 ・周囲と積極的にコミュニケーションを取りながらチームで課題解決に取り組める方 ・モノづくりやサプライチェーンに興味がある方
28	半導体製造装置における振動低減技術	半導体製造装置を想定した実験部材を用いて、ダンピングによる振動低減技術開発を体験していただきます。	①半導体製造装置の紹介 ②ダンピングによる振動低減技術説明 ③簡易加速度センサーを用いた振動低減評価実習 ④評価レポート作成・レビュー	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/開発統括部/第二開発部/第一開発課	機械系	PCの基本的な操作、Excelによる計算、PowerPointによる書類作成が可能なこと	機械設計に関する知識
29	半導体露光装置における、装置制御機能のソフトウェア設計	半導体露光装置の技術について知っていただき、そこに使われているソフトウェアの設計実習を通して製品に使われるソフトウェアの開発業務について学んでいただきます。	ソフトウェアの要求分析、モデル作成、ソフトウェアの仕様書作成、座談会 など	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/開発統括部/第四開発部/第一開発課	電気・電子系、情報系、物理系、数学系、機械系	特になし	特になし
30	リアルに体験！半導体露光装置ソフトウェア開発実習	当課は、半導体露光装置における制御ソフトウェアを開発している部署です。今回の実習ではソフトウェア開発の現場における、各開発工程のリアルな学びの体験ができます。ニコンで働く際の職場雰囲気、風潮・風土を感じ、また企業グリーンルームを見学する機会を提供します。また、実習を通して要求されるスキルに気づきを得て、今後の自己啓発の一助になればと考えています。 マニアックな半導体露光装置！ソフトウェア開発の楽しさ！ぜひ実習を通して知見を持ち帰って下さい！	実習課題を通してソフトウェア開発プロセスの一部を体験する。 課題１）要求分析・要件定義：改善や新規機能開発の要求に対して分析し、開発する内容を要件として定義します 課題２）設計・実装・テスト：要件定義から仕様の検討を行い、ソフトウェアの設計作業、実装、テストを行います 課題３）稼働分析：アプリケーションが出力するデータを元に分析を行います また、実習前のオリエンテーションとしてクリーンルーム見学も実施予定です。	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/開発統括部/第四開発部/第二開発課	機械系、電気・電子系、情報系、物理系、数学系、経営工学系	特になし	半導体業界に対する興味のある方 ソフトウェア開発に興味のある方 プログラミング経験者（言語問わず）
31	半導体露光装置の制御コンピュータ用ソフト開発の体験	・半導体露光装置の制御コンピュータのソフト開発 ・開発したソフトを展開するための配布用OSの作成とインストールを行ってもらい、ソフト開発と実際の工程作業の体験ができます。	・半導体露光装置説明（クリーンルーム見学にて装置を見ることができる） ・半導体露光装置制御システムの構成説明 ・実行環境とOSの説明 ・ソフト開発の実習 ・開発したソフトの配布用OSの作成とインストール体験	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/開発統括部/第四開発部/第三開発課	電気・電子系、情報系、物理系、数学系	コンピュータの操作ができる事	特になし

2026年度 冬期ワークショップコース一覧⑤

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
32	半導体露光装置のソフトウェア関連トラブルシューティング	顧客先での露光装置ソフトウェアに関するトラブル発生から解決までのロールプレイ	顧客先の露光装置で仮想のソフト関連のトラブルが発生し、現地法人からサポート要請を受けてメンバーの一人として解決するまでの業務体験	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/ 開発統括部/カスタマーソリューション部/ ソフトウェアソリューション課	電気・電子系、 情報系	ソフトウェア開発には、プログラミングスキルだけでなく、現場が本当に求めていることや課題を把握するのが重要と考えている方	積極的に吸収しようという姿勢があり、楽しんで仕事したいと思っている方 ソフトウェアの開発経験があると、トラブルの技術的な背景理解が深まります
33	CADを使った作図とアセンブリによるモノづくり体験ならびにトラブル解決業務体験	製造技術課は「装置のトラブル対応」「工具設計や管理」など、一見関連のない業務を行っているようですがそんなことは無く、むしろそれをメリットとして違う視点、広い視点での業務を行っています。どちらも製品品質向上と安定したものづくりを技術面から支援しています。 技術的な対応を行うため、定型業務だけではなく、都度アイデア出しや新たな対策の検討が求められています。これら定型業務と非定型業務を体験してもらって、物作りの楽しさや、工程を作り上げて行く楽しさを体験していただけます。	①モノづくりにおける治工具設計プロセスを体験 3D-CATIAによるモデリングと3Dプリンタによるモノづくり体験 もしくは CR8000によるハース図作図とアセンブリによるモノづくり体験 ②露光装置トラブル発生時のログ解析、アクションプラン作成、解決までの業務体験 生産技術業務における工具設計から製作の流れとトラブル発生時の対処を学ぶことで、製造の上流から下流までの生産技術業務への理解が深まります	熊谷製作所	精機事業本部/半導体装置事業部/ 生産統括部/製造部/製造技術課	機械系、電気・ 電子系、情報系	特になし	モノづくりに興味のある方 製造の上流から下流まで幅広く興味のある方
34	情報共有で組織課題を解決！ポータルサイト改善ワークショップ	事業企画部がバナンス推進課は、ヘルスケア事業部のIT活用、人材育成、コンプライアンス、輸出入管理など、事業運営を支えるさまざまな業務を担っています。事業部では情報共有基盤としてポータルサイト（事業部内に限定したイントラネット）を運用しており、組織内の情報共有やコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。 本コースでは、事業部ポータルサイトを題材に、実際の組織課題の把握や分析を行い、情報共有の仕組みを通じた課題解決策の立案に取り組んでいただきます。バックオフィス部門の役割や企業における組織運営について理解を深めながら、改善提案を行う実践型プログラムです。	1.ガバナンス推進課の業務紹介 2.事業部ポータルサイトの仕組みを学ぶ 3.組織課題を把握・分析する 4.ポータルサイトを活用した課題解決策を検討する 5.改善提案をまとめ、発表を行う	本社（イノベーションセンター）	ヘルスケア事業部/事業企画部/ガバナンス推進課		特になし（事務系も歓迎）	組織運営や組織課題解決に興味がある方
35	生物顕微鏡で撮る、考える、伝える。3日間で体験する”理系×ビジネス”の仕事	ヘルスケア事業部では、光学顕微鏡技術を必要とする研究者へ、その価値を正しく届けるための活動を行っています。研究開発の成果が社会課題の解決へつながるよう、製品情報や活用事例を発信し、研究・医療の発展を支えています。 ワークショップでは、ハイレンド顕微鏡を実際に操作して作例画像を撮影し、ターゲット顧客を想定したコンテンツ企画、Webページ制作、効果分析までをチームで体験します。技術や科学への理解を活かしながら、「どうすれば人に価値が伝わるのか」を考える、実践的なプログラムです。 理系・文系を問わず、「技術を社会へ届ける仕事」に興味のある方、新しいキャリアの可能性を発見したい方の参加をお待ちしています。	Day 1：基本講義と顕微鏡操作体験 Day 2：プロ仕様の撮影、画像処理／解析 Day 3：Web制作／コピー分析体験、成果発表	本社（イノベーションセンター）	ヘルスケア事業部/マーケティングコミュニケーション部	バイオ系、情報系、物理系	特になし	バイオ、情報、マーケティング分野でのキャリア形成に興味のある方
36	シミュレーションと実機で学ぶ生物顕微鏡の電動レボルバ制御設計	ヘルスケア事業部では、医療・研究分野で使用される顕微鏡の開発を行っています。顕微鏡には、観察対象に応じて複数の対物レンズを切り替える「電動レボルバ」が搭載されており、目的の位置まで速く、正確に、静かに動かすためのモーター制御技術が使われています。本コースでは、顕微鏡の電動レボルバを題材に、MATLAB/Simulinkによるシミュレーションと、実際に顕微鏡を用いた実機動作評価を体験していただきます。 シミュレーション上で制御パラメータを変更して動作を予測し、実機で動作時間、電流、騒音などを測定します。シミュレーションと実機の結果を比較しながら、「速さ」「静かさ」「安定した停止」を両立するための改善案を検討します。モデルによる設計、実機による検証、測定結果の分析、改善提案という、企業における電気・制御設計の一連の開発プロセスを体験できるコースです。	1. 顕微鏡と電動レボルバの仕組みを学ぶ 顕微鏡の製品構成、対物レンズを切り替える電動レボルバの役割、モーター制御の基本を学びます。 2. MATLAB/Simulinkによる制御シミュレーションを体験する 電動レボルバのシミュレーションモデルを操作し、制御パラメータの変更によって動作時間や電流波形がどのように変化するかを確認します。 3. 実機を用いて電動レボルバの動作を評価する 実際の顕微鏡ユニットを動作させ、動作時間、電流、騒音などの測定データを取得します。 4. シミュレーションと実機の結果を比較・分析する 予測結果と実測結果の違いを確認し、その要因について社員と一緒に考察します。 5. 制御パラメータを改善して効果を検証する 「速く、静かに、安定して停止する」ことを目標に、制御パラメータの改善案を検討し、シミュレーションと実機で効果を確認します。 6. 検討結果をまとめ、成果発表を行う 実習結果、分析内容、改善案を資料にまとめ発表します。発表後、担当社員からフィードバックを行います。	本社（イノベーションセンター）	ヘルスケア事業部/開発統括部/製品開発部/第二開発課	電気・電子系	・電気・電子工学又はそれに準じる分野を専攻されている方	・制御工学、電気回路設計、プログラミングやシミュレーションの基礎知識や経験がある方 ・生物顕微鏡やそれを使用するバイオ・医療分野に興味がある方
37	事業部の生産管理/調達/経営管理 業務	製品を作っているためのヒト・モノ・カネの一連の流れを知ることができます。また、事業部の生産管理、調達、経営管理業務の全体像と生版在（生産・販売・在庫）計画の流れを学ぶことができます。	①生産・調達・経営管理業務の全体像、業務概要を説明 ②生版在計画の進め方をOJTで経験してもらい、メーカーでの事務業務のイメージを影らませる ③実際にモノづくりしている工程見学および出荷梱包開梱等、工場ならではの簡単な作業を経験する	仙台分室	インダストリアルソリューションズ事業部/ 生産管理部/第一管理課		特になし	特になし
38	BtoB向け新製品のマーケティング業務	インダストリアルソリューションズ事業部は、半導体、自動車、航空宇宙など幅広い産業分野にわたり、お客様のニーズに合わせた製品を提供しています。 ワークショップでは、マーケティングの基礎とフレームワークを学び、活用できることを目指すプログラムをご用意しています。3日間を通じてBtoB向け新製品企画案を作成しプレゼンテーションを行うまで、実際の業務に近い体験が可能です。	①ココン製品の売場による製品理解と現状調査 ②社員や他の参加学生とのグループワーク（新製品企画案のディスカッション等） ③商品企画手順に沿った商品企画案作成（ケーススタディ） ④マネジメント層へのプレゼンテーション	本社（イノベーションセンター）	インダストリアルソリューションズ事業部/ 事業戦略部/第一マーケティング課		Word、Excel、PowerPointの基礎的な操作が可能であること	特になし
39	先端光学製品／産業機器のグローバル営業実践	座学だけでなく実製品をベースとした営業ロールプレイングなど実践的な体験 情報収集・ヒアリング→資料作成と交渉までを実施	営業の基礎知識（顧客ターゲット、ニーズ探索、提案等）ビジネスコミュニケーション、プレゼンテーションスキル顧客ロールプレイング、営業同行シミュレーションチームに分かれ、顧客への提案資料作成チームごとに成果発表、質疑応答	本社（イノベーションセンター）	インダストリアルソリューションズ事業部/ 営業統括部/営業推進部/第一営業課		特になし	特になし

2026年度 冬期ワークショップコース一覧⑥

実習日程：2026年12月2日(水)～12月4日（金）

NO	コース名	コース概要	実習内容	実習場所	職場	対象系統	必須要件	歓迎要件
40	生成AIを用いた社内システムのユーザ評価・満足度計測方法の検討	アドバンスサービス部は、事業部製品やサービスに対する、顧客満足度：Customer Satisfaction Engagement を向上するために、多様なアクションを行う部署です（顧客サポートを含む顧客対応から、社内の連携、情報共有に至るまで様々）。言い換えると、自事業部で扱う製品やサービスの内容を把握し、他部署と連携を取りながら、顧客が満足・納得した製品・サービスを提供し続けることが仕事になります。そのためには、製品サービスの情報を円滑に共有したり、必要に応じて、顧客の満足度や社内の稼働状況を把握できるシステムや仕組みが必要になります。本コースでは開発中の社内システムを触ってもらいながら、そのシステムを評価する方法やアイデアを提案するコースとなっています。	①インダストリアルソリューションズ事業部の製品の紹介と製品種類・特徴の把握 ②社内システムの把握 ③ユーザテスト・評価方法の検討（アンケート等の作成） ④検討した方法や狙いのレポートを作成し、報告会を開催	本社（イノベーションセンター）	インダストリアルソリューションズ事業部/ 営業統括部/アドバンスサービス部/第一CS推進課	経営工学系、数学系、情報系	顧客満足度（CS）の業務に興味がある方、仕組みづくりに関心がある方	顧客サポートサービス、データ活用・分析、マーケティングに関心がある方 アイデア発想が得意な方 提案を実践してみたい方
41	インダストリアルソリューションズの【ものづくり】	インダストリアルソリューションズ事業部の【ものづくり】がどのように行われているのか、製造に関わる部署（技術/検査/サービス/品質保証/品質管理）ごとに、実際に使用している製品(NEXIV・MM等)を動かし体験しながら製造プロセスを学んでいただけます。	①インダストリアルソリューションズ製造に関わる各部署がどのような仕事をしているのか体験形式で学んでいく。 ②製品を作り上げるまでの組立調整フロー、現場をサポートする生産技術の役割を学習する。 ③アフターサービス(お客様対応等)に関して実例を交えながら学習する。 ④実機(NEXIV)を使用している検査業務(完成品チェック等)のプロセスを学習する。 ⑤各種試験(不具合対応/原因分析等、どのように品質確保・向上をしているのか)学習する。 ⑥商品の安全・環境に関する各種法令・規格への適合及び推進について学習する。	相模原製作所	インダストリアルソリューションズ事業部/ 開発・技術統括部/第一開発・技術部/技術課	機械系、電気・電子系、情報系	機械系/電気・電子系/情報系を専攻されている方	ものづくりに興味があり、頭で考えて手を動かし分解したり組み立てをすることが好きな方。
42	エンコーダの特性評価	現在急激な発展を遂げているロボットテクノロジーには欠かせない、エンコーダ、またはエンコーダを含むロボットモジュールの設計評価を体験していただき、ロボット業界で要求される仕様や信頼性について学んでいただけます。	①エンコーダ、及びエンコーダを含むロボットモジュールの紹介と技術説明 ②評価内容の説明、データの説明 ③データ取得 ④データ解析、まとめ ⑤レポート作成、報告会の開催	仙台分室	インダストリアルソリューションズ事業部/ 開発・技術統括部/第三開発・技術部/第二開発課	電気・電子系	電気・電子回路の知識がある方	特になし
43	エンコーダの開発体験、特性評価	ロボットテクノロジーに欠かせない、エンコーダの開発体験、特性評価を体験していただき、ロボット業界で要求される仕様や信頼性について学んでいただけます。	①エンコーダの紹介と技術説明 ②評価内容の説明、データの説明 ③開発検討、データ取得 ④データ解析、まとめ ⑤レポート作成、報告会の開催	仙台分室	インダストリアルソリューションズ事業部/ 開発・技術統括部/第三開発・技術部/第三開発課	機械系	機械・システム工学系を専攻されている方	ものづくりに興味があり、機械設計、材料の知識がある方
44	「見えない」を「見える」に変える 画像センシング開発体験	本コースでは、製品に組み込む特殊カメラの選定・評価を通じて、要求仕様を製品へ落とし込む開発業務を体験します。可視光カメラや赤外線（IR）カメラなど、検出波長の異なるカメラでさまざまな対象物を撮影し、波長や撮影条件による見え方の違いを確認します。さらに、演習用の要求仕様をもとに最適なカメラを選定し、撮影画像のノイズやコントラストを解析して、選定の妥当性を定量的に評価します。画像処理や露光時間の調整も試しながら、「要求を理解する・方式を選ぶ・実機で確かめる・結果を説明する」という製品開発の一連の流れを経験し、技術的な判断を重ねながら製品を形にしていくなかで面白さを体感できます。	①可視光カメラと赤外線（IR）カメラの原理・特性を学ぶ ②検出波長や露光時間などの撮影条件を変えて対象物を撮影し、見え方の違いを比較する ③演習用の要求仕様を整理し、条件に適したカメラを選定する ④選定したカメラで測定対象を撮影し、画像処理を行う ⑤ノイズやコントラストを解析し、カメラ選定の妥当性を定量的に評価する ⑥評価結果と考察を資料にまとめ、報告会で発表する	水戸製作所	カスタムプロダクツ事業部/開発部/第三開発課	電気・電子系、情報系	・電気・電子工学、情報工学の基礎知識がある方 ・Excel、PowerPointの基本操作ができる方	・カメラ、光学、画像処理に興味がある方 ・実験や測定、データ分析が好きな方 ・撮影結果を観察し、論理的に考察できる方